いわき市の経済・景気の動き

TRAIL

経済・景気動向調査報告「トレイル」
第 75 号　2021 年 12 月 17 日発行

いわき市産業振興部

【全国】厳しさが徐々に緩和！今後は、原材料価格上昇と“オミクロン株”の影響が懸念！

【いわき市】全ての分野が停滞に！今後は全国と同様、“オミクロン株”の影響次第！

【経済・景気四方山話】

- “地域生活圏”の人口基準が 30 万人から 10 万人に！
- 地域創生施策、補助金目当てからの脱皮！
- 「国語世論調査」の憂鬱！

■　全国動向

21 年第Ⅲ期(7-9 月)の GDP（国内総生産）速報値（11/15 発表*）は、“緊急事態宣言”等による個人消費の減退、設備投資や住宅投資等の軒並みの減少で、2 四半期ぶりの前期比 0.8%減（実質値）、年率換算では 3.0%減（同）となった。

11/15 発表の「月例経済報告」は、“厳しい状況が徐々に緩和しつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる”とした。上記 GDP の動きと若干矛盾しているが、これは上記がデータ期間内の GDP 動きであるのに対して、同報告は経済・景気全般の総合判断なので、GDP 以外の調査結果や直近の動向等を加味するためである。今回は、懸念されていたコロナ感染再拡大もないため消費者心理が回復し、8 月から 11 月にかけ、百貨店、外食、宿泊等、個人消費の一部に持ち直しの兆しがでてきたことを反映している。

目　　次

全国：厳しい状況が徐々に緩和！　今後、原材料価格動向の上昇と“オミクロン株”の影響が懸念！
いわき市：全ての部門が停滞！　今後は、全国同様、“オミクロン株”の影響次第！
経済・景気四方山話：
- “地域生活圏”の人口基準が 30 万人から 10 万人に！
- 地域創生施策、補助金目当てからの脱皮！
- 「国語世論調査」の憂鬱！

【いわき市の動向】
Ⅰ　経済・景気調査：2021 年第 3 四半期(7～9 月)
1. 経済の動き（主要部門別・主要経済データ）・・・・　3
2. 景気の動き（景気動向指数）　・・・・・・・・・・　9
【参考】－ 景気動向指数の内容　－ 国・県の動き
Ⅱ　景気ウォッチャー調査：2021 年 11 月時点　・・・・・　15

先行きは、食品関係原材料価格や原油価格の動向と“オミクロン株”の感染動向が懸念される。

* 12/8 発表の改定値は、季節調整方法の変更もあり、年率 0.9%減（年率 3.6%減）と下方修正された。

■　いわき市の動向

●　経済・景気調査

20 年 1-3 月期以降、悪化してきたが、21 年 4-6 月期には一部が上向いていた。しかし今 7-9 月期は、ほとんどの部門が停滞に転じている。ただ 11 月の景気ウォッチャー調査では上向き傾向が見てとれるが、その矢先、“オミクロン株”の出現で、今後は全く不透明。

いわき市経済・景気判断の推移（要旨）

年	期・月		判断内容（一部要約）
20	Ⅰ	1-3	新型コロナ禍の影響！
	Ⅱ	4-6	深刻なコロナ禍！
	Ⅲ	7-9	今期もコロナ禍の影響！
	Ⅳ	10-12	一部分野にやや下げ止まり！
21	Ⅰ	1-3	ほとんどの分野で悪化！
	Ⅱ	4-6	増・減のまだら状態！
	Ⅲ	7-9	ほとんどの分野が停滞！

【需要動向】

公共工事が需要をけん引。他の大規模店舗、自動車新規登録、建築確認、観光等は軒並み微減。

【企業動向】

小名浜港輸入通関が 29.4%増加。ただし市への経済波及の程度は不詳。他の中央卸売、中小企業融資、信用保証承諾額等は軒並み減少。

【雇用動向】

新規求人と有効求人の動きは小さい。雇用保険受給者数の減少が続いており悪化はしていない。

●景気ウォッチャー調査（21 年 11 月時点）

全業種の現状 DI は、前回より 29.9 ﾎﾟｲﾝﾄも上昇（「良い」と「やや良い」が 39.2%）、とくに家計の伸びが大きい。同先行 DI も、住宅、企業以外、程々上がっている。「自由意見」では、コロナ禍による影響や徐々に取れて、一部で良くなっているものの、今後のコロナ禍を気にする意見が多い。

景気ウォッチャー調査(21/11)

	現状判断DI		先行判断DI	
区分	今回	前回差	今回	前回差
全業種	53.7	29.9	53.4	14.5
家計	56.1	35.5	55.8	19.2
小売	52.7	32.5	58.3	23.7
飲食	66.7	46.7	66.7	31.7
サービス	67.2	51.4	53.1	17.0
住宅	37.5	5.4	45.8	-0.8
企業	43.3	13.9	45.0	-0.6
雇用	58.3	16.6	54.2	12.5

（産業創出課）

■ 経済・景気四方山話：

【キーワード】「国土の長期展望」、地方版総合戦略、地域生活圏、デジタル×リアル、官邸主導、「国語世論調査」、合成の誤謬

● “地域生活圏”の人口基準が 30 万人から 10 万人に！

地域づくりの指針となるのが「国土形成計画」である。現行の「第二次国土形成計画」の計画期間は、“H27 から概ね 10 年”となっており、現在、国土審議会（国土交通省所管）で次期計画が検討されている。去る R3/6 には同審議会専門部会[*1]が「国土の長期展望」を取りまとめ、同審議会は R4 夏に中間報告を出すことになっている。この「国土の長期展望」で、最も重要視されているのが、“地域生活圏”である。これまでは、“人口規模で 30 万人前後、時間距離で 1 時間前後の範囲”を考えられていたが、今回のでは、①都市的機能の一部はデジタルで提供可能（フルセットでの提供は不要）、②都市的機能の整備進展に伴う住民の行動範囲の広域化、③デジタル技術を実装しやすい規模などから、“人口 10 万人前後で、時間距離で 1 時間前後の範囲”の圏域が対象とされている。

地域生活圏の進め方は、①積極的なデジタル化の推進する、②急激な経済社会への果敢な取り組んでリアル（現実・実際）の充実を図る、③両者を組み合わせた施策デジタル×リアルを取り組む、などで推進するとされている（表中の丸数字は事例の一部）。

地域生活圏の進め方

【デジタル化】の推進
①行政・民間の各種手続のデジタル化、②オンライン診療・教育の環境整備、③テレワークの推進、副業等の見直し、④高齢者・住民のITリテラシー向上
【リアル】の充実
①デジタル技術を暮らしに実装する、②都市機能の確保、“コンパクト＋ネットワーク”による効率化、③特性に応じた多様な圏域づくり等
【デジタル】×【リアル】
①ビッグデータ活用で細やか生活関連サービス、②対面・遠隔ベストミックスによる高度医療・教育、③生活活動、移動・交通のシームレス化、④リアルタイム情報による災害時の迅速的的かうな支援、地方居住で都市所得を得て新たな暮らし等

以上の流れは、いわき市のまちづくりに関する市計画や都市マスタープラン[*2]と関係する。とくに 2 つの主要拠点と周辺拠点等の地域生活圏をネットワークを想定している後者については、デジタル視点で見直す必要がでて来るのではないか。

*1 R3/6、“国土の長期展望専門委員会”と“国土管理専門委員会”が「最終取りまとめ」を発表。

*2 本誌第 67 号 19 年 12 月“いわき市の都市構造で参照。

● 地域創生施策、補助金狙いだけでは地域の政策との整合性を失う！

今、地域づくりに関する政策はすべて“地域創生”がらみのようである。“地方創生”は、7 年前の H26/12 公布の「まち・ひと・しごと創生法」で発足したが、当初は、その実効性への期待は希薄であった。しかし今、“地域創生○○○”をいうような名称を冠し、地域政策関係省庁の関連政策を広範囲かつ多量に取り込み、予算規模もかなり多額になっている。これは官邸主導によるところが多い。その反面、国交省（国土計画、地方振興関係）や総務省（地方自治、地方振興）等の地域政策の“迫力”が薄れてきたかに見える。

地域の方は、H27/1、国は地域に対して H27/3 までに「地方版総合戦略」の策定をすれば地域活性化等緊急交付金等を支給することとしたため、地域は、固有の総合開発計画等との関係づけも不十分のまま、この交付金目当てに策定を急いだ。以降一部の地域に、補助金等の確保狙いで予算さえ確保すれば事足れりとする処がみられる。このようにすれば、自らの地域政策との整合性を失っていたり、合成の誤謬（個々で正しくても全体ではよくない結果となる）が起こり、中長期に各所・各部分にゆがみを生じさせるので慎むべきだ。

●「国語世論調査」の憂鬱！

毎年、「国語世論調査」が公表されるたびに憂鬱になる。右表の新聞報道ですべての正解者はいるだろうか。そのほか、食べられない or 食べれない、買ってやりたい or 買ってあげたい、③すぐ帰る or そっこう帰る、とてもおいしい or めちゃおいしい、一つ返事 or 二つ返事・・・、などと数多くあげられている。本稿にも間違いがあるかもしれないし、筆者も普段も違って使っているに違いない。

どちらの意味だと思うか

本来の意味		新たに浸透した意味
急に、突然 23.6%	がぜん	とても、断然 67.0%
誰も成し遂げられなかったことをすること 23.3%	破天荒	豪快で大胆な様子 67.0%
当然、是非とも 54.8%	すべからく	すべて、皆 32.1%

出所：文化庁（表様式は日経から借用）

本調査に憂鬱を覚えるのは、取り上げた言葉・言い方について、年代別、時代別等に分析されていて変化の状態が分かるのは、表現が上表のように“彼我の%を示すだけ”だったり、“本来と異なる方が○○%多く選択されている”などと実態を示すだけになっている。正しい使い方は各自の自覚と見識次第ということか。言葉・言い方が時代で変化するのを分かっているので[*3]、よし悪しをもっと明確に示さないと、“変化してしまって、これでもいいのだ”と思ってしまう。本調査をぜひ一度閲覧するのを薦めるが、程々にしておかないと憂鬱になるのは請け合いである。

*3 筆者が“大丈夫？”を“安全？”ととらえていたのがほぼ 10 年前。今では“必要？”の意味でいる。

（東日本国際大学名誉教授　大川信行）

Ⅰ　経済・景気調査：令和3年第Ⅲ四半期（7～9月）

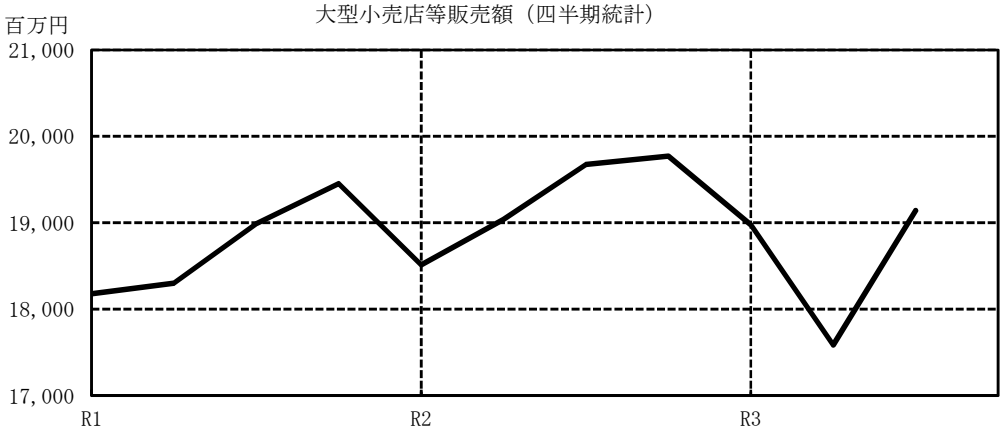
1　いわき市の経済の動き

（１）　主要部門の動向（令和3年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

① 需要動向

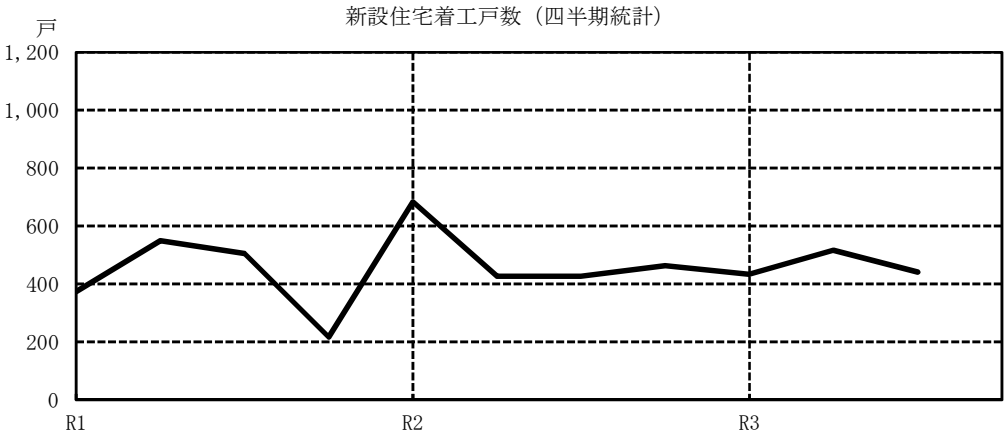
【個人消費】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の大型小売店等販売額は約191億円（前年同期比2.7％の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は3,597台（前年同期比21.5％の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は441戸（前年同期比3.3％の増加）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 公共工事等受注額は約133億円（前年同期比42.4％の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。



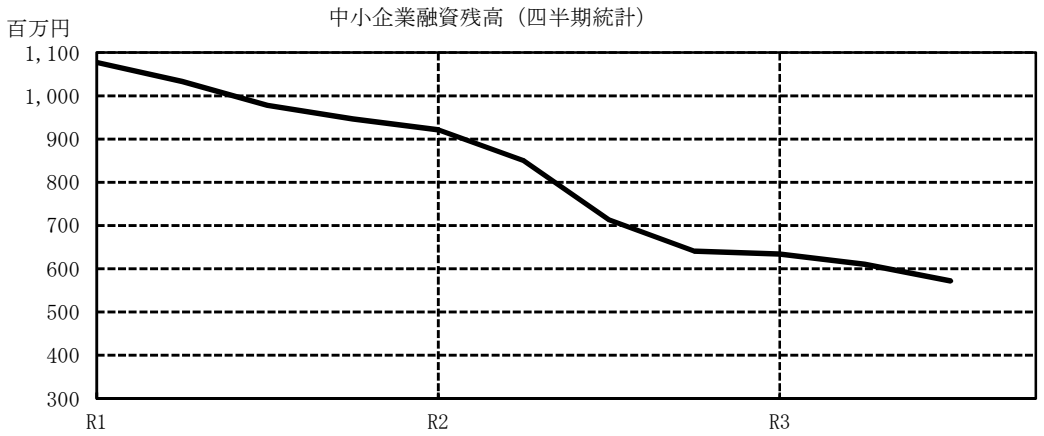
【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、48.4（前年同期比24.7％の低下）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

② 企業動向

【生産活動】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約34億円（前年同期比4.6%の減少）となり、5四半期振りに前年の水準を下回った。

【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約5.7億円（前年同期比19.8%の減少）となり、平成31年第Ⅰ四半期以来、11四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は2件（前年同期比50%の減少(=改善)）となり2四半期振りに前年の水準を下回った(改善した)。

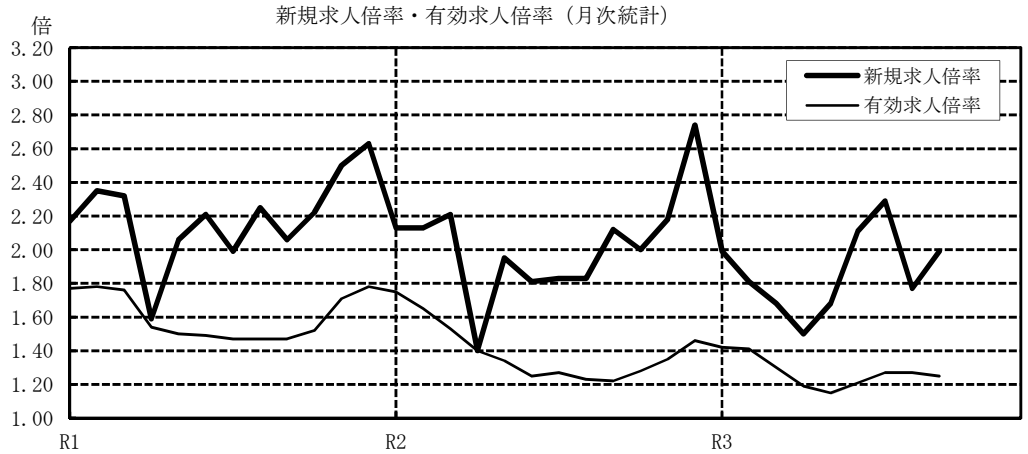


③ 雇用情勢

【雇　　用】 ○ 9月の新規求人倍率は1.99倍（前年同月より0.13ポイントの低下）となり、2ヵ月連続で前年の水準を下回った。

○ 9月の有効求人倍率は1.25倍（前年同月より0.03ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。

○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の雇用保険受給者実人員は4,011人（前年同期比12.0%の減少(=改善)）となり3四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



（２）主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額		自動車新規登録台数		新設住宅着工戸数		建築確認申請受付件数		公共工事等受注額		観光施設利用者指数		入湯税調定人員	
年　月	(百万円)	前年同期比 (%)	(台)	前年同期比 (%)	(戸)	前年同期比 (%)	(件)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)	(H24・四半期平均＝100)	前年同期比 (%)	(人)	前年同期比 (%)
【年次統計】														
平成28年	81,763	2.5	20,034	-4.5	3,420	12.4	1,559	-11.0	49,098	1.5	398	-6.8	706,408	-7.4
29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.1	696,264	-1.4
30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	391	-1.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	370	-5.4	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	193	-47.9	359,932	-43.8
【四半期統計】														
令和元年　Ⅳ	19,454	-2.1	5,357	11.2	217	-64.2	220	-25.9	9,657	3.9	75.2	-13.5	155,302	-7.0
令和2年　Ⅰ	18,513	1.8	5,631	-6.6	684	82.9	222	-25.8	13,889	-36.9	56.1	-26.4	161,119	-3.1
Ⅱ	19,037	4.0	3,347	-25.1	427	-22.4	237	-19.1	7,978	93.6	10.5	-88.4	31,310	-79.1
Ⅲ	19,677	3.6	4,585	-12.6	427	-15.4	288	5.9	9,350	-0.3	64.3	-49.9	55,549	-67.1
Ⅳ	19,772	1.6	4,542	-15.2	463	113.4	248	12.7	16,283	68.6	62.0	-17.5	111,954	-27.9
令和3年　Ⅰ	18,974	2.5	5,541	-1.6	434	-36.5	279	25.7	53,279	283.6	30.7	-45.2	57,466	-64.3
Ⅱ	17,586	-7.6	3,745	11.9	517	21.1	273	15.2	6,251	-21.7	35.9	242.5	50,519	61.4
Ⅲ	19,144	-2.7	3,597	-21.5	441	3.3	270	-6.3	13,313	42.4	48.4	-24.7	85,941	54.7
【月次統計】														
令和元年10月	5,936	-3.9	1,289	-21.1	143	-32.9	71	-37.2	5,354	5.9	22.2	-22.9	55,266	-0.4
11月	5,961	0.2	2,337	33.5	13	-91.1	65	-39.8	2,534	65.5	26.1	-12.4	47,817	-8.8
12月	7,557	-2.3	1,731	20.8	61	-75.3	84	10.5	1,769	-34.8	26.9	-5.0	52,219	-11.7
令和2年1月	6,043	-2.0	1,640	-6.2	178	54.8	72	-4.0	1,897	-61.0	24.8	5.1	55,217	-0.5
2月	5,916	5.3	1,717	-9.2	368	150.3	73	-34.8	2,501	62.2	22.9	4.8	56,886	12.7
3月	6,554	2.5	2,274	-4.9	138	23.2	77	-31.3	9,492	-39.2	8.3	-73.0	49,016	-18.7
4月	6,185	2.8	1,124	-16.9	165	13.8	80	-23.8	730	-38.2	2.1	-92.4	20,442	-60.0
5月	6,434	4.5	851	-42.4	66	-25.8	66	-31.3	2,246	145.7	0.5	-98.6	7,694	-83.9
6月	6,418	4.8	1,372	-16.1	196	-38.0	91	-1.1	5,002	147.0	7.9	-71.8	3,174	-93.8
7月	6,405	4.5	1,485	-11.6	152	-29.3	94	0.0	3,188	46.6	17.0	-47.6	8,779	-80.8
8月	7,047	5.1	1,243	-14.8	148	87.3	95	11.8	2,668	-1.8	25.9	-58.9	18,273	-63.2
9月	6,225	1.2	1,857	-11.7	127	-39.8	99	6.5	3,494	-22.1	21.4	-34.7	28,497	-61.1
10月	6,223	4.8	1,633	26.7	174	21.7	87	22.5	4,170	-22.1	19.3	-12.8	35,442	-35.9
11月	6,005	0.7	1,588	-32.0	154	1,084.6	80	23.1	2,038	-19.6	23.3	-10.8	37,682	-21.2
12月	7,544	-0.2	1,321	-23.7	135	121.3	81	-3.6	10,075	469.4	19.4	-27.9	38,830	-25.6
令和3年1月	6,470	7.1	1,494	-8.9	83	-53.4	78	8.3	2,538	33.8	8.6	-65.2	19,058	-65.5
2月	6,025	1.8	1,743	1.5	220	-40.2	90	23.3	38,845	1,453.2	8.2	-64.1	14,694	-74.2
3月	6,479	-1.1	2,304	1.3	131	-5.1	111	44.2	11,897	25.3	13.9	66.9	23,714	-51.6
4月	5,743	-7.1	1,276	13.5	175	6.1	84	5.0	1,739	138.1	11.4	443.3	16,285	-20.3
5月	6,047	-6.0	1,187	39.5	165	150.0	86	30.3	1,505	-33.0	12.5	2,490	16,890	119.5
6月	5,796	-9.7	1,282	-6.6	177	-9.7	103	13.2	3,007	-39.9	11.9	51.4	17,344	446.4
7月	6,389	-0.2	1,351	-9.0	147	-3.3	90	-4.3	4,989	56.5	19.9	16.9	27,895	217.7
8月	6,691	-5.1	1,082	-13.0	154	4.1	80	-15.8	2,844	6.6	17.9	-30.9	33,102	81.2
9月	6,064	-2.6	1,164	-37.3	140	10.2	100	1.0	5,480	56.8	10.7	-50.0	24,944	-12.5
出典：	いわき市産業創出課		いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部		いわき市産業創出課（市内主要観光施設の利用者数を指数化）		いわき市市民税課	

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区分	企業動向											
	生産活動				企業活動							
	いわき市中央卸売市場取扱高	前年同期比	小名浜港輸入通関実績	前年同期比	いわき市中小企業融資残高	前年同期比	いわき市中小企業融資利率	前年同月比	信用保証承諾額	前年同期比	信用保証協会代位弁済	前年同期比
年月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】												
平成28年	14,214	-2.1	224,693	-25.7	1,235	-13.6	2.03	-0.2	17,079	-7.1	608	60.9
29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5
30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9
【四半期統計】												
令和元年 Ⅳ	3,471	-13.8	77,445	-11.6	947	-20.0	2.08	0.09	5,430	8.5	122	-58.7
令和2年 Ⅰ	2,831	5.6	74,638	-12.5	921	-14.5	2.00	0.13	6,310	31.2	243	-55.8
Ⅱ	3,078	-7.0	89,268	-11.3	851	-17.7	2.20	0.01	27,678	433.4	113	12.2
Ⅲ	3,587	4.4	82,469	0.7	713	-27.0	2.20	0.15	21,271	272.8	142	-26.2
Ⅳ	4,054	16.8	75,231	-2.9	641	-32.3	2.20	0.12	12,703	133.9	63	-48.6
令和3年 Ⅰ	3,000	6.0	69,240	-7.2	634	-31.2	2.10	0.10	18,749	197.1	113	-53.4
Ⅱ	3,287	6.8	77,893	-12.7	610	-28.2	2.18	-0.02	7,023	-74.6	19	-83.4
Ⅲ	3,422	-4.6	106,699	29.4	572	-19.8	1.82	-0.38	6,050	-71.6	42	-70.3
【月次統計】												
令和元年10月	1,026	-7.4	20,179	-44.5	956	-30.7	2.20	0.11	1,578	10.4	25	-5.7
11月	1,121	-1.1	31,312	23.8	945	-11.9	2.20	0.35	1,645	17.2	62	-39.2
12月	1,324	-25.8	25,954	-0.2	939	-14.4	1.85	-0.20	2,207	1.8	34	-79.3
令和2年1月	995	5.4	21,821	-37.6	928	-14.4	2.20	0.60	1,588	54.7	14	-80.0
2月	758	-19.2	25,264	-20.1	925	-14.1	1.60	-0.28	1,668	5.4	63	70.3
3月	1,079	35.1	27,553	47.1	910	-15.0	2.20	0.05	3,054	38.8	165	-62.4
4月	970	-17.5	29,469	-25.7	888	-15.4	2.20	0.04	3,832	160.9	49	-
5月	1,039	-1.3	33,087	14.7	868	-15.9	-	-	10,263	484.4	64	-33.2
6月	1,069	-1.2	26,712	-16.9	795	-21.9	-	-	13,582	591.6	0	-100.0
7月	1,225	6.5	29,546	-6.5	740	-25.6	-	-	9,497	377.9	15	-80.9
8月	1,260	2.3	20,951	-5.5	717	-25.5	2.20	0.00	6,376	283.5	0	-100.0
9月	1,102	4.6	31,972	13.7	684	-29.8	2.20	0.45	5,397	162.5	127	38.2
10月	1,141	11.2	32,673	61.9	660	-31.0	2.20	0.00	4,270	170.6	15	-41.3
11月	1,011	-9.8	25,594	-18.3	640	-32.2	-	-	3,640	121.3	13	-79.9
12月	1,902	43.7	16,964	-34.6	622	-33.7	2.20	0.35	4,793	117.2	35	2.6
令和3年1月	942	-5.3	20,031	-8.2	632	-31.9	2.20	0.00	2,314	45.7	56	290.5
2月	974	28.6	23,844	-5.6	641	-30.7	2.20	0.60	5,005	200.1	2	-97.5
3月	1,084	0.5	25,365	-7.9	628	-31.0	1.90	-0.30	11,430	274.3	55	-66.7
4月	1,133	16.7	25,825	-12.4	622	-30.0	2.20	0.00	3,559	-7.1	0	-100.0
5月	1,104	6.3	24,688	-25.4	611	-29.6	2.20	-	1,289	-87.4	0	-100.0
6月	1,051	-1.7	27,380	2.5	599	-24.7	2.15	-	2,175	-84.0	19	-
7月	1,259	2.8	28,733	-2.8	579	-21.8	2.20	-	2,039	-78.5	13	-11.6
8月	1,128	-10.4	33,659	60.7	584	-18.5	1.55	-0.65	1,420	-77.7	7	-
9月	1,035	-6.1	44,307	38.6	553	-19.1	1.70	-0.50	2,591	-52.0	22	-82.6
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）		横浜税関		いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値）”－”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会			

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市民税調定額	前年同期比	企業倒産件数	前年同期比	企業倒産負債総額	前年同期比	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合（全業種）
年　月	（百万円）	（%）	（件）	（%）	（百万円）	（%）						
【年次統計】												
平成28年	4,532	-11.2	8	-	7,538	-	-	-	-	-	-	-
29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	-	-	-	-	-	-
30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	4,199	2.4	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和元年　Ⅳ	1,363	-17.9	3	-50.0	79	-99.1	-	-	-	-	-	-
令和2年　Ⅰ	542	-0.7	5	25.0	629	-46.4	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	1,434	12.6	2	-60.0	55	-85.5	-	-	-	-	-	-
Ⅲ	1,125	22.3	4	100.0	313	745.9	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	1,099	-19.4	3	0.0	189	139.2	-	-	-	-	-	-
令和3年　Ⅰ	392	-27.7	2	-60.0	198	-68.5	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	1,223	-14.7	2	0.0	165	200.0	-	-	-	-	-	-
Ⅲ	862	-23.4	2	-50.0	545	74.1	-	-	-	-	-	-
【月次統計】												
令和元年10月	129	-22.7	2	100.0	56	-93.5	-	-	-	-	-	-
11月	902	-35.6	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
12月	332	259.6	1	0.0	23	130.0	-14.3	-20.0	-11.1	-41.7	10.0	-15.9
令和2年1月	84	-46.5	4	300.0	593	-28.6	-	-	-	-	-	-
2月	147	25.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	312	14.2	1	-50.0	36	-81.4	-50.0	-50.0	-33.3	-50.0	-40.0	-46.3
4月	170	8.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
5月	301	-6.5	1	0.0	26	-87.0	-	-	-	-	-	-
6月	963	21.1	1	-66.7	29	-76.6	-71.0	-30.0	-45.5	-70.0	-90.6	-64.4
7月	647	34.8	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
8月	345	-1.8	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-
9月	133	50.7	2	100.0	225	2,150.0	-66.6	-50.0	-81.8	-41.6	-60.0	-61.7
10月	112	-13.7	1	-50.0	90	60.7	-	-	-	-	-	-
11月	915	1.5	2	-	99	-	-	-	-	-	-	-
12月	72	-78.3	0	-100.0	0	-100.0	-59.4	-40.0	-50.0	-80.0	-70.0	-59.8
令和3年1月	84	0.5	1	-75.0	188	-68.3	-	-	-	-	-	-
2月	122	-17.0	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
3月	186	-40.3	0	-100.0	0	-100.0	-26.7	-16.6	-44.4	-75.0	-70.0	-41.3
4月	110	-35.3	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	293	-2.6	2	100.0	165	534.6	-	-	-	-	-	-
6月	820	-14.8	0	-100.0	0	-100.0	0.0	-10.0	-37.5	-54.6	-20.0	-17.7
7月	422	-34.7	1	-	260	-	-	-	-	-	-	-
8月	340	-1.5	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	100	-25.2	1	-50.0	285	26.7	-18.5	-20.0	-25.0	-60.0	-66.7	-32.8
出典：	いわき市市民税課（法人税割）		東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興ｾﾝﾀｰ（前年同月比で「良化」－「悪化」社数構成比（各月末時点）） 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区　分	雇用						その他					
	新規求人倍率	前年同期比	有効求人倍率	前年同期比	雇用保険受給者実人員	前年同期比	高速道路出入交通量	前年同期比	いわき市景気ｳｫｯﾁｬｰ調査（先行きＤＩ）			
									家計動向	企業動向	雇用関連	総合
年　月	（倍）	（%p）	（倍）	（%p）	（人）	（%）	（千台）	（%）				
【年次統計】												
平成28年	2.14	0.02	1.67	0.00	13,934	-1.1	12,184	0.0	－	－	－	－
29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	－	－	－	－
30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	－	－	－	－
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	－	－	－	－
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	－	－	－	－
【四半期統計】												
令和元年　Ⅳ	－	－	－	－	3,500	13.4	2,408	1.9	－	－	－	－
令和2年　Ⅰ	－	－	－	－	3,570	22.9	2,120	-2.6	－	－	－	－
Ⅱ	－	－	－	－	3,830	13.1	1,531	-32.0	－	－	－	－
Ⅲ	－	－	－	－	4,558	23.6	2,041	-17.9	－	－	－	－
Ⅳ	－	－	－	－	3,869	10.5	2,068	-14.1	－	－	－	－
令和3年　Ⅰ	－	－	－	－	3,493	-2.2	1,801	-15.0	－	－	－	－
Ⅱ	－	－	－	－	3,791	-1.0	1,787	16.7	－	－	－	－
Ⅲ	－	－	－	－	4,011	-12.0	1,806	-11.5	－	－	－	－
【月次統計】												
令和元年10月	2.22	0.15	1.52	-0.10	1,143	2.6	818	3.0	－	－	－	－
11月	2.50	-0.06	1.71	0.04	1,166	17.8	803	1.1	37.8	42.3	25.0	38.1
12月	2.63	-0.35	1.78	-0.01	1,191	21.3	787	1.5	－	－	－	－
令和2年1月	2.13	-0.04	1.75	-0.02	1,246	22.8	740	2.8	－	－	－	－
2月	2.13	-0.22	1.65	-0.13	1,107	17.5	690	4.6	29.6	40.4	25.0	31.5
3月	2.21	-0.11	1.53	-0.23	1,217	28.4	689	-13.5	－	－	－	－
4月	1.40	-0.19	1.40	-0.14	1,161	9.5	488	-35.2	－	－	－	－
5月	1.95	-0.11	1.34	-0.16	1,162	0.6	450	-42.3	40.0	43.3	57.1	42.2
6月	1.81	-0.40	1.25	-0.24	1,507	28.7	593	-17.3	－	－	－	－
7月	1.83	-0.16	1.27	-0.20	1,564	22.4	671	-15.5	－	－	－	－
8月	1.83	-0.42	1.23	-0.24	1,514	23.2	691	-24.6	42.0	31.7	33.3	39.2
9月	2.12	0.06	1.22	-0.25	1,480	25.3	679	-12.4	－	－	－	－
10月	2.00	-0.22	1.28	-0.24	1,389	21.5	704	-13.9	－	－	－	－
11月	2.18	-0.32	1.35	-0.36	1,255	7.6	699	-12.9	38.8	30.4	46.4	38.0
12月	2.74	0.11	1.46	-0.32	1,225	2.9	664	-15.5	－	－	－	－
令和3年1月	1.99	-0.14	1.42	-0.33	1,215	-2.5	555	-25.1	－	－	－	－
2月	1.81	-0.32	1.41	-0.24	1,131	2.2	557	-19.3	46.8	38.5	62.5	46.6
3月	1.68	-0.53	1.30	-0.23	1,147	-5.8	690	0.0	－	－	－	－
4月	1.50	0.10	1.19	-0.21	1,244	7.1	610	24.9	－	－	－	－
5月	1.68	-0.27	1.15	-0.19	1,196	2.9	573	27.4	48.8	43.4	53.6	48.0
6月	2.11	0.30	1.21	-0.04	1,351	-10.4	603	1.7	－	－	－	－
7月	2.29	0.46	1.27	0.00	1,357	-13.2	664	-1.1	－	－	－	－
8月	1.77	-0.06	1.27	0.04	1,374	-9.2	579	-16.2	36.6	45.6	41.7	38.9
9月	1.99	-0.13	1.25	0.03	1,280	-13.5	563	-17.1	－	－	－	－
出典：	ﾊﾛｰﾜｰｸいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

2　いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和3年第Ⅲ四半期(7～9月)の状況）

（１）　ＣＩ（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ）

① 概要

9月のCIは、先行指数が76.9、一致指数が70.4、遅行指数が65.7となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 9月は76.9ポイントで、2ヵ月連続で下降した。
寄与度がプラスの指標は、新規求人倍率（2ヵ月振り）、建築確認申請受付件数（4ヵ月振り）等の4指標、マイナスの指標は、自動車新規登録台数（2ヵ月連続）、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月連続）等の4指標であった。

【一致指数】 9月は70.4ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。
寄与度がプラスの指標は、高速道路出入交通量（3ヵ月振り）、大型小売店等販売額（2ヵ月振り）等の5指標、マイナスの指標は、有効求人倍率（2ヵ月連続）、小名浜港輸入通関実績（5ヵ月振り）等の3指標であった。

【遅行指数】 9月は65.7ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。
寄与度がプラスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）、雇用保険受給者実人員（逆）（2ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、入湯税調定人員（5ヵ月振り）等の2指標であった。

※ＣＩの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

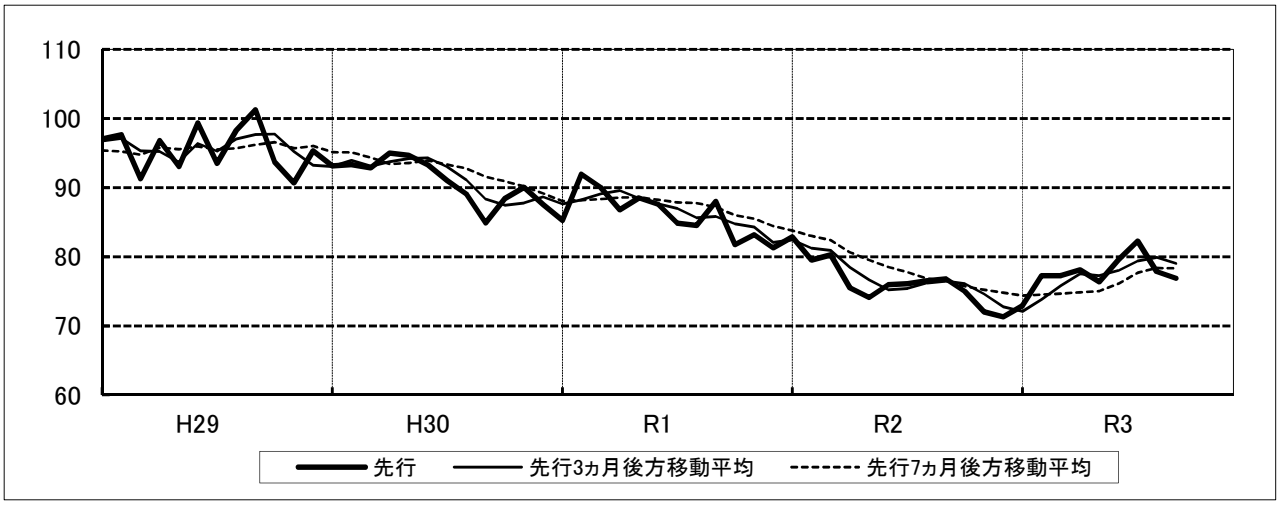
③ 指数の推移及び寄与度の内訳（ＣＩの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区分		令和2年			令和3年								
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数（Ｃ．Ｉ）		75.0	72.0	71.3	72.9	77.3	77.3	78.1	76.4	79.5	82.3	77.8	76.9
前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）		-1.81	-2.92	-0.75	1.62	4.34	0.00	0.81	-1.68	3.15	2.72	-4.42	-0.96
先行系列寄与度内訳	１．自動車新規登録台数	0.21	-1.40	-0.24	-0.71	1.25	-0.26	0.79	-1.32	-1.24	1.03	-0.84	-2.48
	２．新設住宅着工戸数	0.44	-0.19	-0.12	-0.96	2.22	-0.61	0.07	0.42	-0.28	-0.70	0.57	0.08
	３．建築確認申請受付件数	-0.32	0.36	-0.64	1.41	0.03	0.57	-1.52	1.00	-0.14	-0.73	-0.26	0.90
	４．鉱工業在庫率指数（逆）	-0.89	-0.57	-0.51	1.99	-0.48	0.54	-0.40	-0.96	0.21	0.73	-0.10	-0.73
	５．新規求人倍率	-0.85	-0.41	1.34	-0.83	-1.09	-0.13	1.54	-1.33	2.44	1.04	-2.73	1.51
	６．いわき市中小企業融資残高	-0.37	-0.39	-0.47	0.80	0.59	-0.03	0.51	0.26	2.23	1.38	1.52	-0.23
	７．いわき市景気ｳｫｯﾁｬｰ先行き判断DI	0.02	-0.26	0.03	0.03	1.95	-0.03	-0.03	0.28	-0.03	-0.03	-2.69	0.03
	８．一致指数トレンド成分	-0.04	-0.05	-0.12	-0.10	-0.15	-0.05	-0.14	-0.03	-0.03	0.00	0.10	-0.02
一致指数（Ｃ．Ｉ）		72.7	69.8	67.6	68.6	67.6	65.6	65.1	68.7	69.4	73.9	69.9	70.4
前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）		5.51	-2.87	-2.18	1.01	-1.05	-1.95	-0.50	3.54	0.75	4.42	-3.99	0.57
一致系列寄与度内訳	１．大型小売店等販売額	0.80	-0.91	-0.19	1.54	-1.12	-0.63	-1.22	0.25	-0.78	1.76	-1.07	0.56
	２．鉱工業生産指数	1.68	-1.75	-0.50	0.22	-1.19	-0.96	0.52	1.62	-1.13	1.27	-0.72	0.11
	３．鉱工業出荷指数	0.63	-0.51	-0.03	0.71	-0.70	-1.24	0.46	1.13	-0.18	0.99	-1.33	0.07
	４．鉱工業在庫指数	0.93	0.56	-0.30	-0.17	-0.54	-0.46	0.52	0.35	-0.91	-0.21	-0.01	0.16
	５．小名浜港輸入通関実績	0.62	-0.43	-1.10	0.47	0.36	0.09	-0.08	0.01	0.34	0.14	0.92	-0.01
	６．有効求人倍率	0.74	0.02	0.33	-0.21	0.39	-0.53	0.04	0.15	1.01	0.69	-0.17	-0.64
	７．高速道路出入交通量	0.12	0.16	-0.51	-1.54	1.76	0.55	-0.73	0.02	0.76	-0.22	-1.63	1.37
	８．中小企業ＤＩ（全業種）	-0.01	-0.01	0.12	-0.01	-0.01	1.23	0.00	0.00	1.64	0.005	0.0048	-1.06
遅行指数（Ｃ．Ｉ）		63.3	63.3	66.2	61.5	64.3	64.7	62.5	64.1	63.1	68.3	65.0	65.7
前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）		1.33	-0.03	2.93	-4.70	2.78	0.35	-2.11	1.60	-1.03	5.18	-3.31	0.72
遅行系列寄与度内訳	１．公共工事受注額	-0.43	-0.22	1.49	0.10	1.49	0.27	0.03	-0.24	-0.43	0.17	-0.10	0.19
	２．入湯税調定人員	1.54	0.55	-0.21	-1.59	-0.99	1.66	-1.58	0.78	0.13	1.68	0.92	-1.65
	３．観光施設利用者指数	1.00	0.71	-0.95	-1.59	0.24	1.04	-0.47	-0.68	0.68	1.68	-1.67	0.52
	４．法人市民税調定額	-1.08	0.07	-0.17	0.00	0.12	-0.63	0.24	0.49	-0.08	-0.28	0.32	0.03
	５．雇用保険受給者実人員（逆）	0.52	0.42	0.65	-0.21	0.51	0.52	-1.14	1.11	-0.47	0.27	-0.18	0.62
	６．いわき市中央卸売市場取扱高	0.73	-1.52	1.57	-0.68	0.32	-0.83	0.47	0.17	-0.75	1.57	-1.68	0.79
	７．いわき市中小企業融資利率	-0.90	0.00	0.66	-0.63	1.20	-1.64	0.45	-0.01	-0.09	0.08	-1.01	0.24
	８．一致指数トレンド成分	-0.03	-0.04	-0.11	-0.09	-0.12	-0.04	-0.11	-0.02	-0.02	0.00	0.09	-0.01

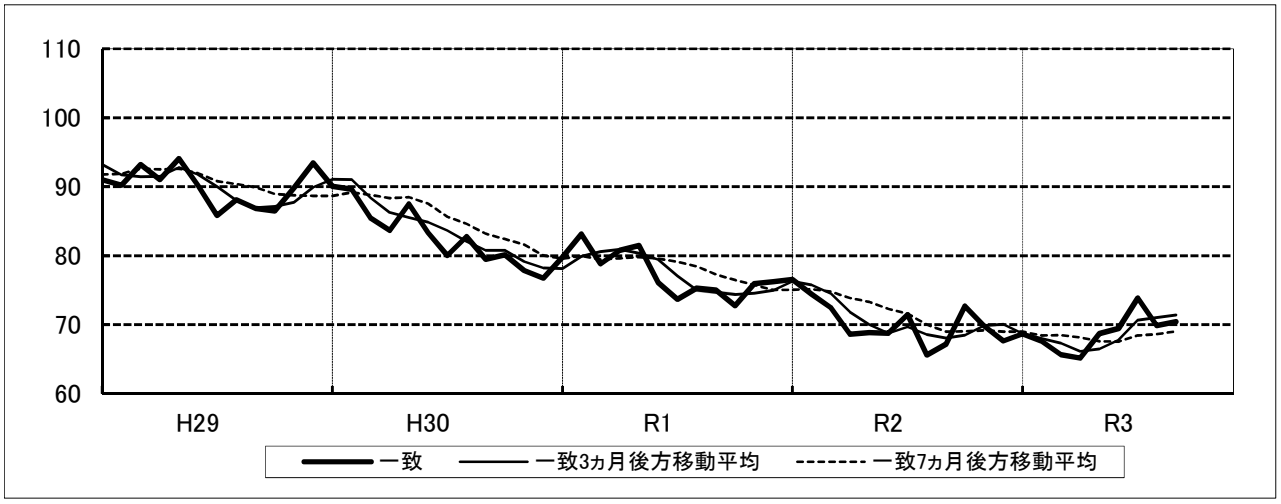
注1）ＣＩはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。
2）一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。
3）寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

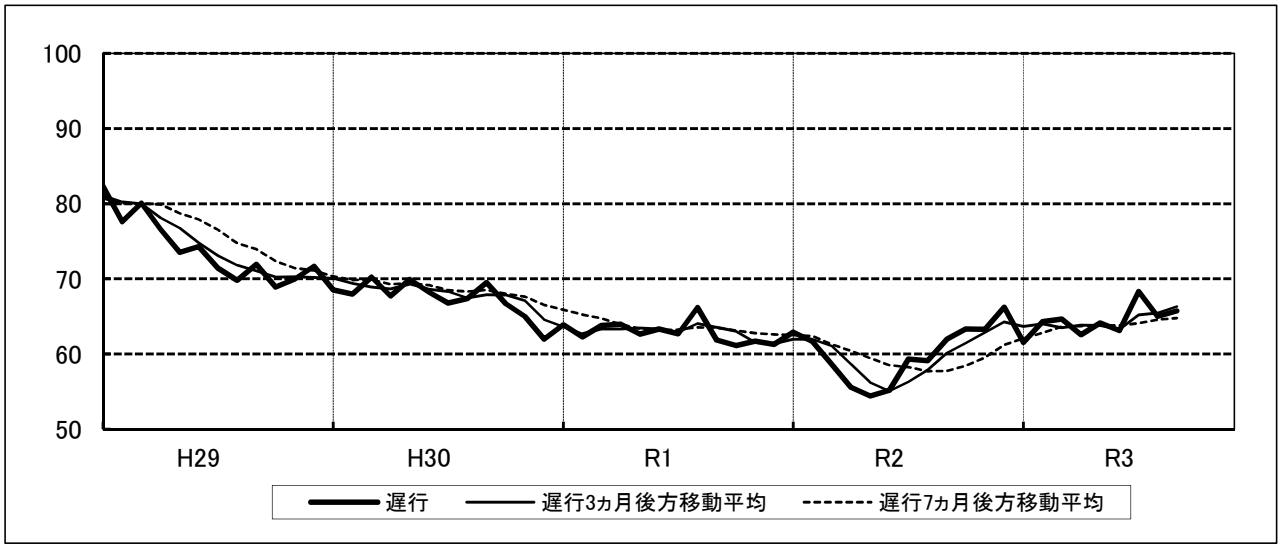
・先行指数の推移　（平成27年＝100）



・一致指数の動向　（平成27年＝100）



・遅行指数の動向　（平成27年＝100）



⑤ CIデータ

・先 行 指 数

（平成27年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	101.3	103.0	96.2	115.4	117.1	121.5	116.2	106.1	100.0	107.1	102.1	104.7
25	105.7	110.1	115.5	110.7	117.2	118.0	126.8	127.0	118.5	117.9	129.7	120.5
26	120.6	131.4	123.2	102.6	113.0	113.2	113.7	112.6	111.9	111.4	105.8	110.0
27	109.5	99.0	105.7	98.4	96.0	99.4	100.9	98.8	98.9	98.6	99.2	95.5
28	95.8	90.4	89.9	94.6	93.8	95.0	98.7	94.5	89.6	94.6	96.4	96.8
29	97.0	97.6	91.3	96.8	93.1	99.3	93.5	98.3	101.3	93.7	90.7	95.3
30	93.1	93.3	92.9	95.0	94.7	93.3	91.0	89.1	84.9	88.4	90.0	87.6
1	85.3	91.9	90.0	86.8	88.5	87.6	84.9	84.6	88.0	81.7	83.2	81.3
2	82.9	79.5	80.3	75.5	74.1	76.0	76.1	76.5	76.8	75.0	72.0	71.3
3	72.9	77.3	77.3	78.1	76.4	79.5	82.3	77.8	76.9			

・一 致 指 数

（平成27年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	86.9	92.1	104.8	98.4	95.4	92.3	92.6	96.6	96.5	100.0	104.8	103.9
25	104.0	106.4	108.0	106.2	105.7	101.9	104.7	108.0	103.3	102.2	104.0	105.0
26	103.8	100.8	107.7	101.2	105.7	105.6	104.4	107.0	105.2	103.6	101.0	101.1
27	102.1	100.7	99.3	102.5	101.3	99.2	100.9	102.5	102.3	99.5	96.5	93.2
28	94.7	95.2	88.6	91.9	88.9	90.8	89.5	88.0	91.8	93.3	94.7	94.1
29	91.0	90.2	93.2	91.0	94.1	90.2	85.8	88.1	86.9	86.5	89.8	93.4
30	90.1	89.6	85.4	83.7	87.5	83.3	80.1	82.8	79.5	80.1	77.9	76.7
1	79.8	83.1	78.8	80.8	81.5	76.1	73.7	75.3	75.0	72.7	76.0	76.2
2	76.6	74.4	72.5	68.6	68.9	68.7	71.4	65.6	67.2	72.7	69.8	67.6
3	68.6	67.6	65.6	65.1	68.7	69.4	73.9	69.9	70.4			

・遅 行 指 数

（平成27年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	62.5	67.0	72.4	77.8	87.5	90.3	91.7	94.9	98.1	106.0	105.9	109.9
25	108.9	108.0	105.7	111.5	113.1	107.6	110.0	110.9	107.8	108.2	113.9	109.6
26	113.9	112.0	112.2	110.9	110.1	108.5	108.6	108.8	105.0	107.3	104.0	102.2
27	105.8	105.4	108.2	104.2	104.0	100.1	99.9	97.1	97.1	94.2	91.8	92.1
28	89.0	90.0	82.9	83.5	81.6	79.6	82.0	80.5	77.6	81.7	80.1	80.8
29	82.3	77.6	80.1	76.6	73.5	74.3	71.4	69.8	71.9	68.9	70.0	71.7
30	68.5	68.0	70.2	67.7	69.9	68.2	66.8	67.4	69.5	66.7	65.0	62.0
1	63.9	62.3	63.8	64.0	62.7	63.3	62.7	66.2	61.8	61.1	61.7	61.3
2	62.9	61.7	58.6	55.6	54.4	55.2	59.3	59.1	62.0	63.3	63.3	66.2
3	61.5	64.3	64.7	62.5	64.1	63.1	68.3	65.0	65.7			

（２）　ＤＩ（ﾃﾞｨﾌｭｰｼﾞｮﾝ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ）

① 概要

【先行指数】 9月は、28.6％と2ヵ月連続で50％を下回った。

【一致指数】 9月は、37.5％と7ヵ月振りに50％を下回った。

【遅行指数】 9月は、42.9％と2ヵ月連続で50％を下回った。

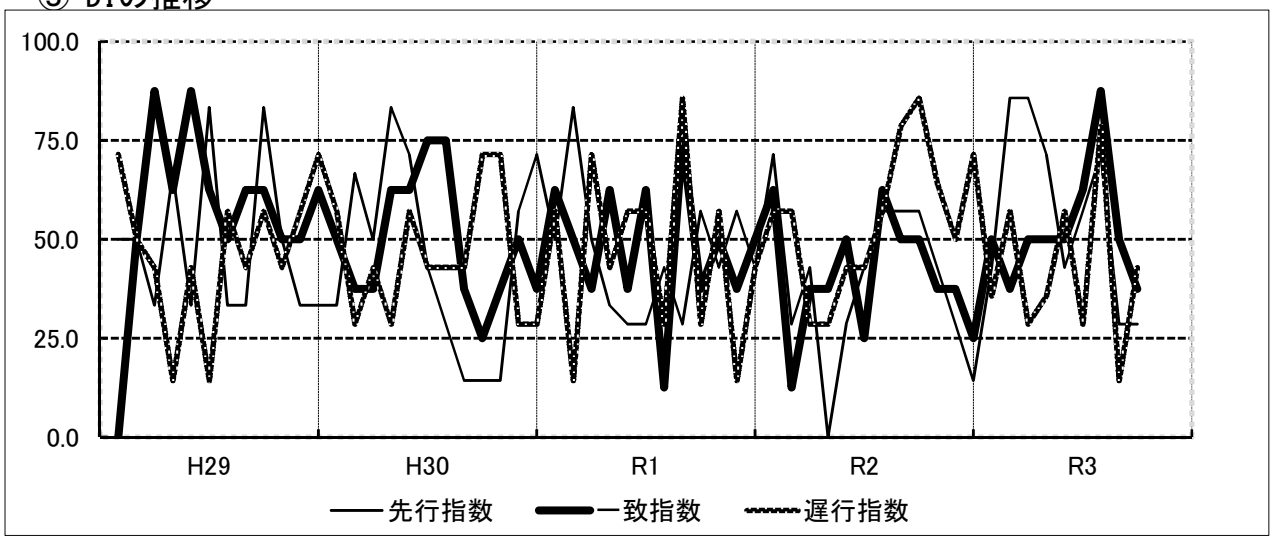
（注）各指数とも50％が景気の拡張期と後退期との境目とされる（-景気動向指数利用の手引き-参照）

② DIの推移

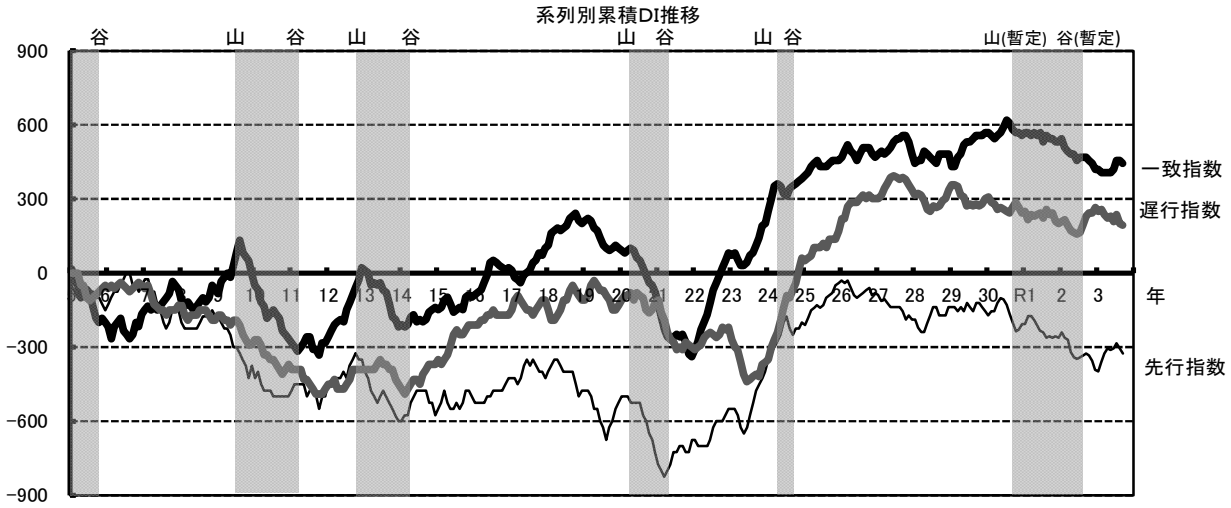
区　分	令和2年			令和3年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数（Ｄ．Ｉ）	42.9	28.6	14.3	42.9	85.7	85.7	71.4	42.9	57.1	71.4	28.6	28.6
一致指数（Ｄ．Ｉ）	37.5	37.5	25.0	50.0	37.5	50.0	50.0	50.0	62.5	87.5	50.0	37.5
遅行指数（Ｄ．Ｉ）	64.3	50.0	71.4	35.7	57.1	28.6	35.7	57.1	28.6	78.6	14.3	42.9

注)DIは、先行(7指標)、一致(8指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



（参考）累積DIの推移（平成5年以降）



注1）累積指数は、基準月（平成5年1月）の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。
累積DI(t)=累積DI(t-1)+(DI(t)-50)
注2）DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。
注3）影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

（１）景気動向指数の概要

○　景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すＣＩ（コンポジット・インデックス)と、景気の方向性を示すＤＩ（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。

○　ＣＩ、ＤＩはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の３種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

（２）ＣＩ（コンポジット・インデックス　Composite Index)の概要

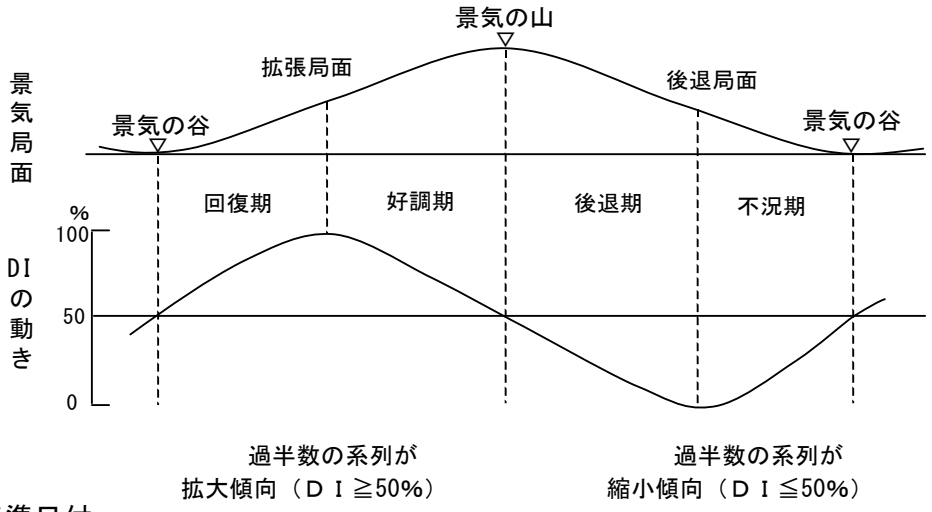
○　ＣＩは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のＣＩでは、大型小売店等販売額等８つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している(詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページhttp://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照)。

○　ＣＩの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。 景気の拡大期にはＣＩが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、ＣＩは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はＤＩを含めた総合的な指標によって判断する。

（３）ＤＩ（ディフュージョン・インデックス　Diffusion Index)の概要

○　ＤＩは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を３ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がＤＩとなる。 例えば、いわき市の一致指数では８つの指標を採用するため、そのうち３つが改善したならば３÷８＝0.375（DI=37.5%）と計算する。

○　一般に、50%を上回っているときが景気の拡張局面、50%を下回っているときが後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



（４）景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、ＤＩの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷
第１循環		S26. 6.	S26.10.
第２循環	S26.10.	29. 1.	29.11.
第３循環	29.11.	32. 6.	33. 6.
第４循環	33. 6.	36.12.	37.10.
第５循環	37.10.	39.10.	40.10.
第６循環	40.10.	45. 7.	46.12.
第７循環	46.12.	48.11.	50. 3.
第８循環	50. 3.	52. 1.	52.10.

区分	谷	山	谷
第９循環	S52.10.	S55. 2.	S58. 2.
第10循環	58. 2.	60. 6.	61.11.
第11循環	61.11.	H 3. 2.	H 5.10.
第12循環	H 5.10.	9. 5.	11. 1.
第13循環	11. 1.	12.11.	14.1.
第14循環	14.1.	20.2.	21.3.
第15循環	21.3.	24.3.	24.11.
第16循環	24.11.	30.10(暫定)	R2.5(暫定)

（５）いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目			内容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数（逆）	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 新規求人倍率	季	月間新規求人数／月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	6 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	7 いわき市景気ｳｫｯﾁｬｰ先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい（もしくは景気の転換点）の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	2 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ：福島県）
	3 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ：福島県）
	4 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ：福島県）
	5 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通関して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	6 有効求人倍率	季	月間有効求人数／月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	7 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
	8 中小企業DI（全業種）	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合－減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい（もしくは景気の転換点）の水準。	福島県産業振興センター
遅行系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	3 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	4 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	5 雇用保険受給者実人員（逆）	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき
	6 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	7 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課

注）季：X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前：原数値の前年同月比、原：（四半期）原数値、移：12ヵ月移動平均
逆：景気の上昇期に減少（低下）し、下降期に増加（上昇）するもの。

【参考】 国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	(我が国経済の基調判断) 景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる。 ・個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直している。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、持ち直しに足踏みがみられる。 ・企業収益は、感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している。企業の業況判断は、一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・雇用情勢は、感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる。 ・消費者物価は、底堅さがみられる。 先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症によ内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和3年11月公表分)
(2) 県の動向	県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。 ・個人消費……弱い動きが続いている。 ・建設需要……弱い動きが続いている。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……厳しい状況にあるものの、緩やかな改善がみられる。 ・物 価……企業物価指数は前年を上回り、消費者物価指数は前年を下回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を下回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和3年11月公表分)

2 景気動向指数(CI)

(1) 国の動向	9 月のCI(速報値・平成 27(2015)年=100)は、先行指数:99.7、一致指数:87.5、遅行指数:94.9 となった。 先行指数は、前月と比較して 1.6 ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。3ヵ月後方移動平均は 1.50 ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は 0.11 ポイント上昇し、13ヵ月連続の上昇となった。一致指数は、前月と比較して 3.8 ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。3ヵ月後方移動平均は 2.36 ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は 0.37 ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。遅行指数は、前月と比較して 0.8 ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は 0.23 ポイント上昇し、7ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は 0.56 ポイント上昇し、7ヵ月連続の上昇となった。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和3年11月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 9月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数103.6ポイント、一致指数74.3ポイント、遅行指数87.8ポイントとなった。 先行指数は、前月(103.9ポイント)を0.3ポイント下回り、2ヵ月連続の下降となった。 一致指数は、前月(70.8ポイント)を3.5ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 遅行指数は、前月(86.0ポイント)を1.8ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 2 一致指数の動向 寄与度をみると、雇用保険受給者実人員、有効求人倍率、所定外労働時間指数、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数、百貨店・スーパー販売額(既存店)が2ヵ月振りのプラスとなった。 一方、生産財出荷指数が3ヵ月連続のマイナス、建築着工床面積(鉱工業)、手形交換金額(1枚当たり)が2ヵ月振りのマイナスとなった。内訳をみると、百貨店・スーパー販売額(既存店)がプラス1.22ポイント、所定外労働時間指数がプラス1.11ポイント、最終需要財出荷指数がプラス0.80ポイント、雇用保険受給者実人員、有効求人倍率がプラス0.66ポイント、鉱工業生産指数がプラス0.40ポイントでこれらの指標の動きが上昇に寄与した。 (福島県「福島県景気動向指数」令和3年11月公表分)

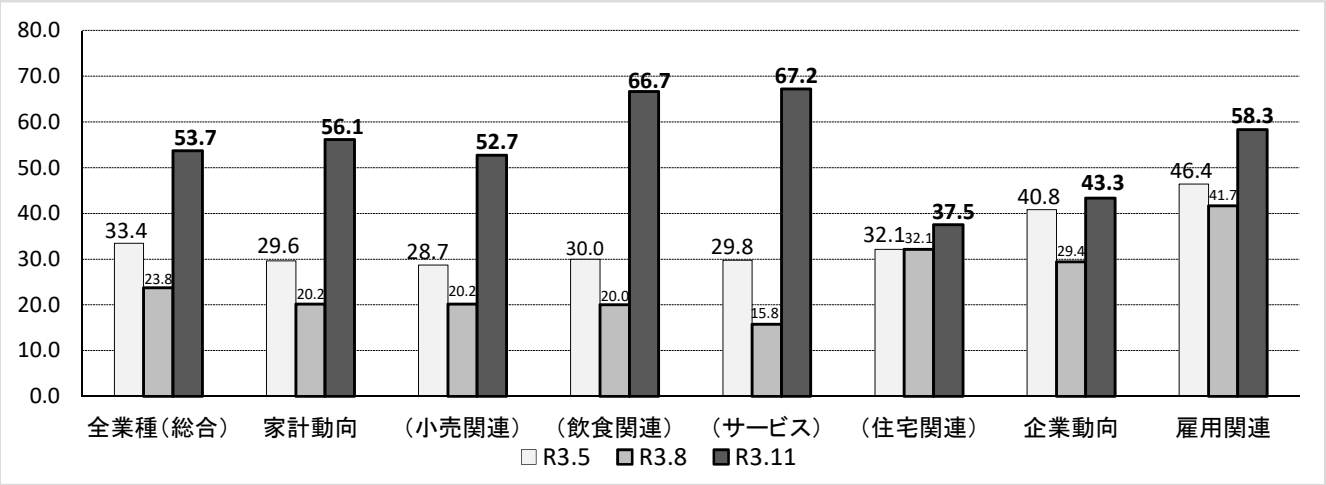
Ⅱ　いわき市景気ウォッチャー調査：令和3年11月時点

1　景気の現状について

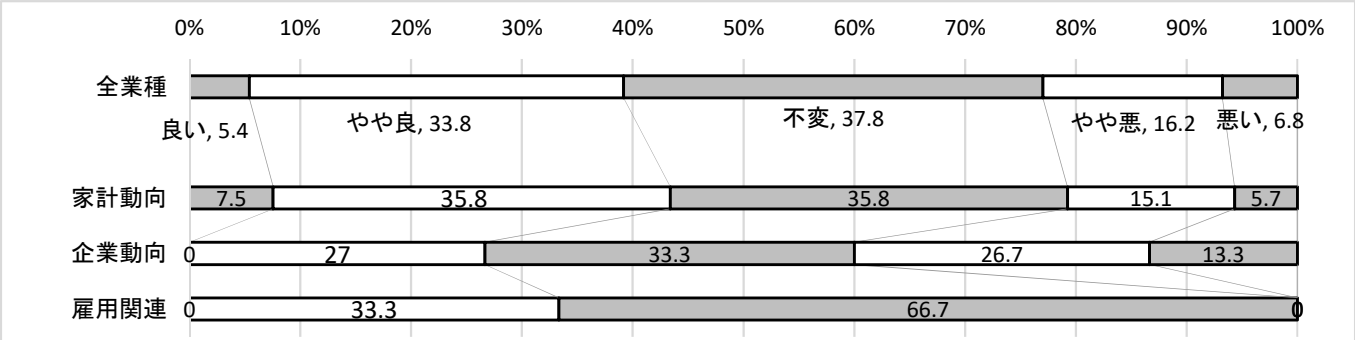
（１）現状判断DI

○ 全業種（総合）の現状判断DIは53.7と、前回より30.0ポイントの上昇となった。家計・企業・雇用関連のすべてで上昇した。

○ 主要業種別では、家計動向関連が56.1と前回より36.0ポイント上昇した。家計の内訳では小売が32.5ポイント、飲食が46.7ポイント、サービスが51.4ポイント、住宅が5.4ポイント上昇した。企業動向関連は43.3と13.9ポイント上昇し、雇用関連は58.3と16.7ポイント上昇した。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は5.4%であり、「やや良くなっている」が33.8%、「変わらない」が37.8%、「やや悪くなっている」が16.2%、「悪くなっている」が6.8%となった。



（２）現状判断の理由

現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項　目（家計）	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	13	9	7	29
2. 販売量の動き	4	4	2	10
3. 単価の動き	1	0	1	2
4. お客様の様子	3	5	1	9
5. 競争相手の様子	0	0	0	0
6. それ以外	2	1	0	3
合　計	23	19	11	53

項　目(企業)	良い	不変	悪い	合計
1. 受注量や販売量	1	1	4	6
2. 受注価格や販売価格	1	2	1	4
3. 取引先の様子	0	1	0	1
4. 競争相手の様子	0	1	1	2
5. それ以外	1	0	0	1
合計	3	5	6	14

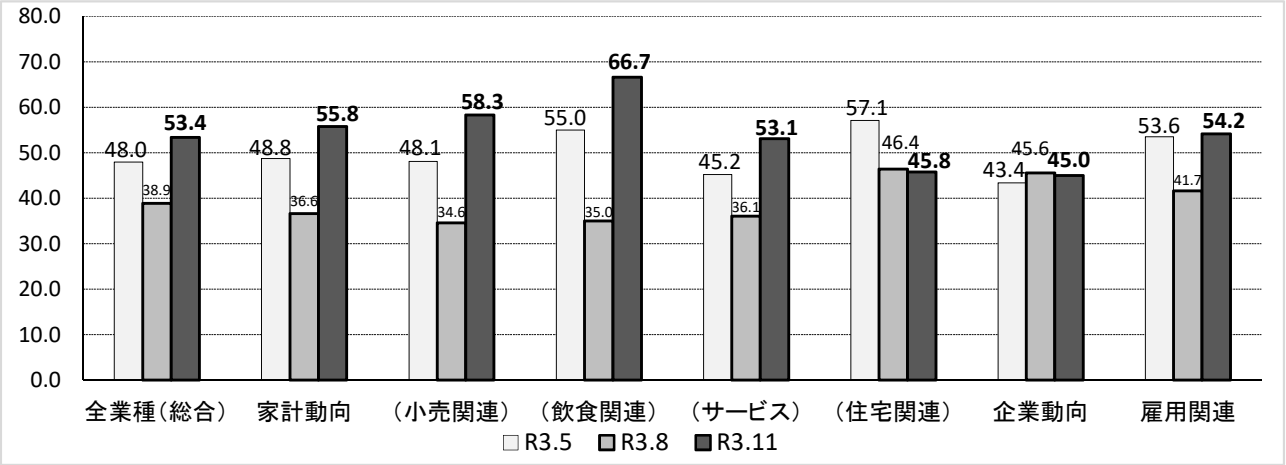
項　目（雇用）	良い	不変	悪い	合計
1. 求人数の動き	1	0	0	1
2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. 周辺企業の動き	0	2	0	2
5. それ以外	1	1	0	2
合計	2	4	0	6

２　景気の先行きについて

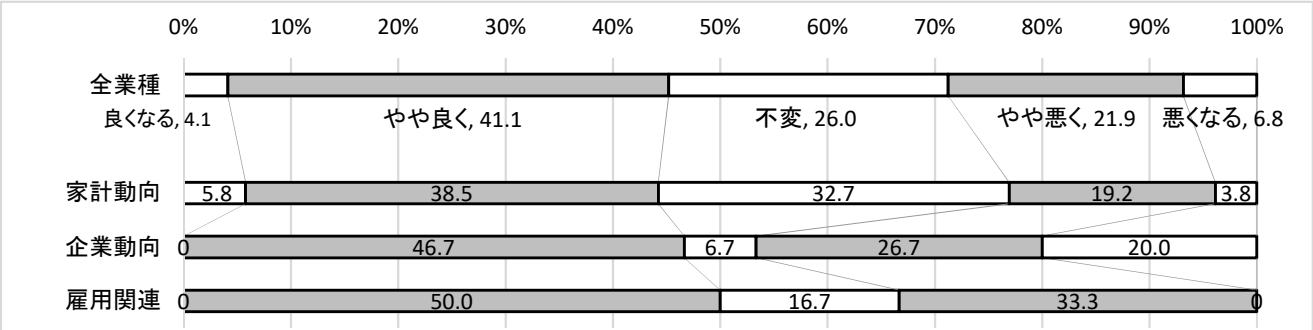
（１）先行き判断DI

○ 全業種（総合）の先行き判断DIは53.4と、前回より14.5ポイントの上昇となった。家計・雇用関連は上昇したが、企業動向関連は低下した。

○ 主要業種別では、家計動向関連が55.8と前回より19.2ポイント上昇した。家計の内訳では小売・飲食・サービスが上昇し、住宅は低下した。企業動向関連は45.0と0.6ポイント低下し、雇用関連は54.2と12.5ポイント上昇した。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は4.1％であり、「やや良くなる」が41.1％、「変わらない」が26.0％、「やや悪くなっている」が21.9％、「悪くなっている」が6.8％となった。



（２）先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項　目（家計）	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	10	8	4	22
2. 販売量の動き	6	2	2	10
3. 単価の動き	1	0	1	2
4. お客様の様子	5	6	3	14
5. 競争相手の様子	0	0	0	0
6. それ以外	2	1	2	5
合　計	24	17	12	53

項　目（企業）	良い	不変	悪い	合計
1. 受注量や販売量	3	0	3	6
2. 受注価格や販売価格	1	1	2	4
3. 取引先の様子	1	0	0	1
4. 競争相手の様子	1	0	2	3
5. それ以外	1	0	0	1
合計	7	1	7	15

項　目（雇用）	良い	不変	悪い	合計
1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 求職者数の動き	1	0	0	1
3. 採用者の動き	1	0	0	1
4. 周辺企業の動き	1	1	2	4
5. それ以外	0	0	0	0
合計	3	1	2	6

３　市内景気に関する自由意見

（アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。）

（街の様子・景気、消費の動向等）

○　まだ全ての企業が経営的に回復している訳ではないが、街の様子を見ていると活気が戻って来ていると思われる。このままコロナ感染者数が増加しなければ徐々に景気も良くなるかと思う。
○　最近のコロナの状況は感染者も出さず良い方向に向かっているとは思うが、お客様を始めイベントなどもまだまだ警戒がみられ流れは戻っていない。売上が戻らない中お店を維持して行くのがとても苦しい。
○　10月からの 県民割の再開に伴い 宿泊者数が 多少 増加傾向にある。しかし 県民のみの 範囲にとどまっているため、利用者は頭打ち状態になってくる。また 新型コロナ禍の関係で 旅行に不安を抱えている方、 go toトラベルの再開を見据えて 旅行を控えている方もいると思われる。
○　飲食店利用時の人数制限等会社単位でのルールもあり消費は引続きおさえこまれている。
○　コロナが落ち着きを見せているため、人の動きは出ている。まだ警戒しつつも、購買欲は上がってこない。
○　コロナ感染者数は減少して街へとお買物には出掛けやすくなったが、まだ、人の流れは戻らず客足は少ないようだ。
○　少人数であるが夜の宴会の受注が少し増えた事と来年１月～２月の新年会等が予約に徐々に入っている。
○　七五三や成人式など時期に左右されるので変動がある。
○　特に来客数の動きが悪い。
○　資材値上がり、半導体、中国の計画停電による納期遅延などの問題がある。
○　かなりひどい状況である。

（今後の見通し等について）

○　コロナ禍の中で様々な行事ごとが取り止めになり、お出かけや着用機会が少なく、販売量、客単価ともに悪影響があったが、来年以降、感染も収束傾向に向かい、景気回復に転じてもらえばと期待する。
○　業種にもよると思う。緊急事態宣言解除により飲食店は来店客も徐々に増加してることや、事業再構築補助金活用による新事業展開により、景気の回復とまではいかなくても、上向きになるのではないか（希望的観測も含めて）と思っている。
○　コロナによる人流抑制や通常活動による影響は、これからどのように変化し表れてくるのか注視したい。業種により回復は容易ではないと感じている。有効な対策が個々で打てるのか、先行きは見通せない。
○　県民割りやＧｏＴｏトラベルが終了してからが不安。
○　お客様の消費マインドはますます低下していくと思う。
○　新型コロナウイルス感染者数の減少傾向からの『気のゆるみ』による再拡大を不安視している。
○　2～3カ月先によくなるのは、コロナ感染第6波が来ない場合である。
○　今後の景気動向については、コロナ感染拡大如何によって大きく影響を受けると考える。
○　コロナの鎮静化がカギ。

－いわき市景気ウォッチャー調査の概要－

（１）調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

（２）調査客体及び有効回答率

家計動向関連81人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計112人を調査客体とする。
今回（令和3年11月）の調査の回答数は74人（有効回答率66.1%）である。

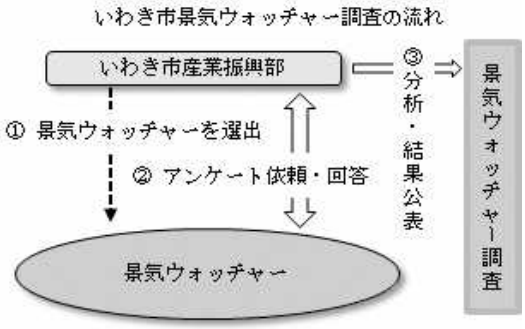
分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	81人	72%	53人	
小売関連	36人	32%	28人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	10人	9%	3人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	23%	16人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	6人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	15人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	6人	人材派遣、職業紹介等
合　計	112人	100%	74人	

（３）調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。
1)　景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
2)　景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

（４）調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会ｼｽﾃﾑﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ）が協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



（５）ＤＩの算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりＤＩを算出する。
ＤＩは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分						
	現状判断（3ヵ月前と比較）	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断（3ヵ月後の見通し）	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

（６）景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和　年度第　回）

平成 30 年　　月　　日

ご回答者

ご所属・お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿**様**

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。

該当項目を１つだけ選択し、番号に○をしてください。例：①　良くなっている。

【質問１】 今月の景気は**３ヵ月前と比べて、**良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ １つお答えください。	1　良くなっている 2　やや良くなっている 3　変わらない 4　やや悪くなっている 5　悪くなっている
【質問２】 質問１のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ １つお答えください。	1　来客数の動き 2　販売量の動き 3　単価の動き 4　お客様の様子 5　競争相手の様子 6　それ以外
【質問３】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 **２～３ヵ月先は、**今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。 １つお答えください。	1　良くなる 2　やや良くなる 3　変わらない 4　やや悪くなる 5　悪くなる
【質問４】 質問３のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ １つお答えください。	1　来客数の動き 2　販売量の動き 3　単価の動き 4　お客様の様子 5　競争相手の様子 6　それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問２、４について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。
企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係
1　受注量や販売量の動き
2　受注価格や販売価格の動き
3　取引先の様子
4　競争相手の様子
5　それ以外

雇用関係
1　求人数の動き
2　求職者数の動き
3　採用者の動き
4　周辺企業の動き
5　それ以外

編集・発行　いわき市　産業振興部　産業創出課
〒970-8686　いわき市平字梅本 21 番地
電　話　０２４６－２２－１１２６（直通）
e-mail：sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp